



キッズチャレンジキャンプ

令和元年10月19日(土)～20日(日)

【目的】幼児の自発的な活動としての遊びを促すために、本所に特設した「ツリーハウス」での遊びや森歩き、野外炊飯等を通して、感じる力や気付く力、考えたり試したりする力と、よりよく生活しようとする心情や態度などの基礎を育む。

【参加者】23家族71名(4, 5才児19名, 6才児8名, 3歳以下7名, 小学生10名, 保護者29名) ※申込42家族133名

【プログラムの内容】

1日目 13:30 はじめの会
 14:00 森歩き
 15:30 親子遊び教室
 19:30 室内遊び

2日目 9:30 冒険の広場で遊ぼう
 11:20 おわりの会
 11:30 解散

森歩き



家族ごとに植物を見たり触ったりしながら、森を歩いた。途中、どんぐり、松ぼっくりやくりなどのいろいろな木の実を拾ったり、ロープを使って急な坂道を登ったりした。子どもが坂道を自分の力で登って、「出来たよー」と自信気にお母さんに伝えている姿が見られた。



親子遊び教室



講師に、子ども身体運動発達指導士の和泉先生をお招きして、親子で一緒に楽しめる遊びをたくさん教えて頂いた。手をつないだままお父さんの周りをクルクル回ったり、お母さんを信じて目をつぶって後ろに倒れてみたり、四つん這いになったお母さんの背中の上からジャンプしたり、子どもたちはいろいろな運動にチャレンジしていた。また、新聞紙でわっかを作って輪投げをしたり、新聞紙を破って遊んだり、家に帰ってもやりたくなる遊びもたくさん体験できた。



室内遊び



平均台コーナー、フラフープコーナー、ディスクナインコーナー、ピタゴラスイッチコーナー、カプラコーナーから、子どもたちが自分の好きな遊びを選んで、ぐるぐる回りながら繰り返し遊んでいた。子どもたちは落ちそうになったり、壊しそうになったり、ドキドキ体験をたくさんした。



冒険の広場で遊ぼう



ツリーハウス、木製ジャングルジム、木のブランコ、スラックライン、キックバイク、土管くぐりなどを自分の好きなように、ぐるぐる回って繰り返し遊んでいた。木に初めて登ったり、グラグラするラインを渡り切ったり、初めてのチャレンジで自信につながった子どももいた。

【参加者の声】さまざまな遊びや体験を通じて、チャレンジをすることが出来ました。普段なかなか遊びだけに集中する事が出来ないで、このように機会を作ってもらって本当に楽しかったし、子どもとずっと遊べて嬉しかった。子どもが自分で考えたり、行動したりと充実した表情で過ごしました。山登りが特に達成感があったようです。子どもの動きたい遊びたいを十分、満喫出来たと思います。来年小学校に入学で同じ保育園から一緒にいく子がないので友達ができるかなと不安でしたが、今回すぐ仲良くなれる子供たちをみて安心しました。子どもも私も少し成長できたように思います。

【成果】定員に対して2倍以上の申し込みがあった。23家族中22家族から「4」、1家族から「3」の評価をいただき、事業全体への高い満足度を得た。参加者の感想に、「幼児の自発的な活動」と「考える姿」に言及するコメントが多数あり、事業の目的をおおよそ達成できた。また、令和2年3月実施予定の幼児だけのキャンプに対して、今回のキャンプの様子から保護者の理解を高めることができた。

【課題】本所を利用する団体も、幼児の自発性を担保しつつ、幼児同士が関わる遊びと「36の動き」を体験させることができるような、プログラムを確立していく必要がある。